

2015 年度名古屋地理学会シンポジウムの開催のご案内

多様な住まい方 について考える

結婚、出産、子どもの成長などに合わせて都心の賃貸住宅からファミリー向けマンションへ、さらに郊外の戸建て住宅へと住み替える、いわゆる「住宅双六」が当てはまらない時代になっています。必ずしも郊外の庭付き戸建て住宅が終の棲家とはならず、郊外から生活に便利な都心マンションへ住み替える高齢者。また、物質的に恵まれた都会での生活にあこがれた 20 世紀とは異なり、精神的な豊かさを求め、田舎暮らしを望んで都会から田舎へ移住する若者たち。

今回のシンポジウムでは、ハウジング研究、田舎暮らし支援、住宅政策などにかかわる方々をパネリストとしてお迎えし、それぞれの専門分野からの報告をもとに、多様化が進んでいる住まい方の実態を学び、そうした多様化する住まい方が地域に何をもたらすかを考えたいと思います。

非会員の方の参加も大歓迎です。申し込み不要（無料）。多数のご来場をお待ちしています。

日 時 平成 27 年 10 月 17 日（土）13:30～16:30
場 所 中部大学名古屋キャンパス 6 階 610 講義室

※JR 中央本線「鶴舞」駅名大病院口（北口）下車すぐ、地下鉄「鶴舞」駅下車北へ約 100 m

プログラム 司会：柏木良明（岐阜聖徳学園大学教育学部教授）
あいさつ 名古屋地理学会会長 林 上（中部大学人文学部教授）
趣旨説明 コーディネーター 大塚俊幸（中部大学人文学部教授）
パネリスト 岐阜大学教育学部助教 久保倫子 氏
「多様化する居住ニーズと住宅供給」
愛知県交流居住センター事務局長
（一社）地域問題研究所主席研究員 加藤栄司 氏
「交流居住と田舎暮らし」
愛知県建設部建築局長 尾崎智央 氏
「愛知県の住宅動向と住宅政策」

